

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理  
送信日時: 2017年2月19日日曜日 19:55  
宛先: csih@googlegroups.com  
件名: [CSIH] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第35回 開催のご案内

---

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年2月19日発行

---

---

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第35回のご案内

---

開催まであと1週間となりました。参加可能な方は是非ご参加の方、よろしくお願い致します。

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」  
2017/02/26 13:00~16:45 トヨタ産業技術記念館 ホールA  
<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

【現在、参加申し込み受付中です。会員の皆様のご参加をお願い致します。】

参加申し込みフォームはこちら <http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html>

■テーマ 「ものづくりとデザイン -産業の近代化とデザインの歩み- 」

■開催趣旨

今回は、デザインを切り口として、産業遺産を見て、考える手がかりにしたいと思います。

『デザイン』は、意匠とも言い、「工夫を凝らすこと」さらに「美術、工芸、工業から生み出す品の形や色など様々に工夫すること」です。

先人が何を思い、考え、どのようにデザインして来たかを学び、産業遺産の意義をより多面的に感じとりたいと思います。そして、その産業遺産を将来に生かし、活かせる道を歩みたいと考えています。

今シンポジウムにて、工業デザインという切り口と、中部地区において発達した近代産業の代表格である自動車や工作機械を例にとって、『デザイン』がはたしてきたことを、参加者みなさんと考えましょう。

■主催 中部産業遺産研究会

■共催 トヨタ産業技術記念館

■日程

13:00~ 開会

13:05~ 講演

基調講演 「デザイン視点でのモノづくりと社会的価値の変遷」

講師 布垣 直昭氏（トヨタ博物館館長）

講演 「マザーマシンにみるデザイン変遷」

講師 梅本 良作氏（会員、名城大学 理工学部 技術員）

15:30~ 質疑応答・意見交換など

